

つるせ西だより



～今月の特集～
地域の文化を支える人たち

第167号(11月号)2021. 11. 1

編集: 鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行: 富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 37

季節を味わうお弁当

秋になると、栗ご飯やさつまいもご飯が食卓にのびります。

9月の子ども食堂でも、おいしそうなさつまいもご飯が出来上がりしました。カラー写真でないのが残念ですが、黄色で、甘く、ほくほくしたさつまいもです。3月から、鶴瀬西交流センターを会場に、月1回行われている子ども食堂「まんぷく」ですが、コロナの影響で、みんなが集まって、お話ししながら楽しく食事をすることが出来ず、お弁当を配布するかたちになっていきます。季節を感じながら、手作りにこだわって作られているようです。

西地域では、「たくちゃん食堂」といって子ども食堂も運営されています。子どもたちの豊かな食環境向上のために頑張っていただけることを期待します。

(撮影) 川上編集委員・文/西角編集委員



まちかどウォッチング

フェスティバルが中止に

8月2日の時点で、緊急事態宣言が発出されたことにより、10月2日・3日開催予定だった鶴瀬西交流センターフェスティバルが昨年度に続き、中止になってしまいました。

また、年度内に縮小して開催することも行わないことになりました。残念に思いますが、このコロナ禍を乗り切らなければ、次のステップに進めない、安全第一を考えれば、当然の判断かなと思われ

ます。聖火リレーの沿道の混雑度を見ると、フェスティバルの混雑が想像できます。皆、外に出たくて我慢している日が続いています。10月1日に宣言は解除されましたが、今少しの我慢です。その時が来たら精一杯楽しみましょう。(吉田)



7月8日、鶴瀬西交流センター多目的ホールにてフェスティバル実行委員会を開催